

科目ナンバリング		U-LAS21 20001 SO48							
授業科目名 <英訳>	ドイツ語II A D2116 Intermediate German A				担当者所属 職名・氏名	非常勤講師 高田 緑			
群	外国語科目群			分野(分類)				使用言語	日本語
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習(外国語)(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2024・前期		曜時限	金2		配当学年	2回生以上	対象学生	全学向
[授業の概要・目的]									
スイスの演劇作家フリードリヒ・デュレンマット(1921-1990)の『物理学者たち』(1961執筆)を抜粋しながら読む。短い台詞を読み、科学者の責任を問う、やや複雑な展開の内容を理解していく。									
[到達目標]									
ドイツ語を身につけると共に、東西対立が激化し、核戦争への危機感が高まる中で生まれた作品の読解を通して、1960年代のドイツ事情について理解を深める。									
[授業計画と内容]									
フリードリヒ・デュレンマットの演劇作品『物理学者たち』には、狂人を装って精神病院に入院している3人の物理学者が登場する。一人は自分をアインシュタインだと思い込み、一人は自分をニュートンだと思い込んでいる。しかし二人は、実は、もう一人の患者メービウスのスパイだった。3人が起こす事件を通して、科学者の発明と責任、その成果の国家権力による使用というテーマが論じられる。 1962年の初演以降、ドイツ語圏で高く評価され、日本の劇場においても、日本語訳で上演が続けられている。 読解には初級ドイツ語の知識が必要だが、予習に必要な語彙解説は随時配布し、受講者の理解度に応じて適宜、進度を調整する。									
第1回 ガイダンス 第2～13回 Die Physiker の講読 第14回 まとめ 期末試験 第15回 フィードバック(方法は別途連絡する)									
[履修要件]									
「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。									
[成績評価の方法・観点]									
テキストをていねいに輪読するため、平常点(50%)、それに定期試験(50%)を加味して総合的に評価する。成績評価基準の詳細については授業中に説明する。									
[教科書]									
初回授業時にテキストを配布する。									
[参考書等]									
(参考書) 授業中に紹介する									
[授業外学修(予習・復習)等]									
毎回、単語の意味を調べ、訳を作成する予習が必要となる。									
[その他(オフィスアワー等)]									